

通し番号	3741
------	------

分類番号	12-7B-22-07
------	-------------

(成果情報名) 平成11年度採卵鶏の経済検定試験	
<p>[要約] デカルブTX35(TX)、ジュリア、ハイライン・W-77(W77)、ボリス・ブラウン(ボリス)、ポバンス・ブラウン(ポバンス)の5銘柄の検定を実施した。産卵率はポバンスが低かった。平均卵重はW77、TXがやゝ軽かった。日産卵量はポバンス、ジュリアが優れた。飼料摂取量はW77が少なかった。飼料要求率はジュリアが1.95で優れた。生存率はW77がやゝ低かった。ハウユニット、卵殻強度はジュリアが良好な成績であった。収益性は規格、非規格卵価ともジュリアが優れた。</p>	
(実施機関・部名) 畜産研究所・畜産工学部	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

本県の採卵養鶏にふさわしいと考えられる鶏種について、それらの特質と能力を明確にして、養鶏農家における鶏種選定の指針を示すために本試験を実施した。今回はウインドウレス育成舎、成鶏舎で検討した。

[成果の内容・特徴]

- 1 デカルブTX35(TX)、ジュリア、ハイライン・W-77(W77)、ボリス・ブラウン(ボリス)、ポバンス・ブラウン(ポバンス)の5銘柄を供試した。
- 2 育成期(0~20週齢)の育成率はボリスが90%弱、ポバンスが94%と有意($P<0.05$)に低く、20週齢体重はボリス、ポバンスが有意($P<0.01$)に重かった。0~20週齢の飼料摂取量はポバンス、ボリスが有意($P<0.05$)に多かった。
- 3 成鶏期の産卵率はポバンスが低かった。平均卵重はW77とTXがやゝ軽く、銘柄間差は2.5g程度であった。日産卵量はポバンス、ジュリアが優れた。飼料摂取量はW77が少なく、逆に、ボリス、ポバンスが多く、銘柄間の差は約6gであった。飼料要求率はジュリアが1.95で優れた。生存率はW77がやゝ低かった。
- 4 卵質関係の成績でハウユニットはジュリアが優れ($P<0.05$)、卵殻強度もジュリアが良好な成績で、卵殻厚はジュリア及びボリスが厚くなった($P<0.05$)。
- 5 規格卵比率は、TXとW77は3LとLLの大玉が他の銘柄の半分程度で、逆にSSとSの小玉が倍の比率となった。L~MSのパック卵比率はTX、W77がやゝ高くなった。
- 6 収益は非規格卵価でも規格卵価でもジュリアが有意に優れた。

[成果の活用面・留意点]

- 1 銘柄の特徴(産卵性、卵質、粒先等)を熟考して、それぞれの販売方式に適合した銘柄選定により経営向上が期待できる。

[具体的データ]

表 平成11年度採卵鶏の経済検定試験育成期・成鶏期・卵質の成績(0~80週齢)

項 目 \ 鶏 種		テカワ TX35	ジュリア	ハイイン W77	ホリス ブラウン	ホハンス ブラウン
育 成 期	育 成 率 %	97.8 ^c	98.1 ^{c d}	99.8 ^d	89.1 ^a	94.1 ^b
	20週齢体重 g	1452 ^A	1413 ^A	1436 ^A	1704 ^B	1686 ^B
	飼料摂取量 g	7113 ^a	7082 ^a	6895 ^a	7530 ^b	7762 ^b
50%産卵到達日齢 日		140.5	140.3	139.0	140.5	138.8
成 鶏 期	産 卵 率 %	85.5 ^{b c}	86.3 ^{b c}	79.1 ^a	84.4 ^b	88.0 ^c
	平 均 卵 重 g	61.8 ^a	63.8 ^b	61.2 ^a	63.8 ^b	63.2 ^b
	日 産 卵 量 g	52.7 ^b	55.0 ^{b c}	48.2 ^a	53.8 ^{b c}	55.5 ^c
	飼料摂取量 g/日	109.5 ^B	107.0 ^A	106.8 ^A	113.3 ^C	112.7 ^C
	飼料要求率	2.08 ^b	1.95 ^a	2.22 ^c	2.11 ^b	2.03 ^{a b}
	生 存 率 %	94.5	95.6	89.9	92.3	94.5
卵 質	ハウユニット	77.35 ^b	81.37 ^a	76.30 ^b	77.44 ^b	72.44 ^c
	卵 殻 強 度 kg	3.17	3.56	3.46	3.41	3.36
	卵 殻 厚 mm	0.335 ^a	0.349 ^b	0.332 ^a	0.344 ^b	0.339 ^{a b}
	比 重	1.0778	1.0782	1.0779	1.0790	1.0773
	卵 殻 重 g	5.70 ^{a b}	6.03 ^c	5.65 ^a	5.86 ^{b c}	5.81 ^{a b c}
	卵 殻 比 率 %	8.92	9.06	8.85	9.00	8.82
	血 斑 %	2.50	0.63	0.63	3.13	0.63
	肉 斑 %	0.63 ^a	0.63 ^a	0.00 ^a	33.75 ^b	39.87 ^c
規 格 卵 比 率	3 L	1.2	2.4	0.8	2.5	2.1
	L L	8.9 ^{a b}	15.8 ^c	7.6 ^a	15.3 ^c	13.2 ^{b c}
	L	31.7	35.2	29.5	35.1	34.6
	M	33.8	32.2	35.3	32.2	33.1
	M S	16.7 ^b	9.8 ^a	17.1 ^c	11.0 ^a	11.9 ^a
	S	5.6 ^b	3.3 ^a	7.2 ^c	2.9 ^a	3.7 ^a
	S S	2.1 ^b	1.3 ^a	2.6 ^c	1.0 ^a	1.3 ^a
	パック卵(L~MS)	82.2	77.1	81.9	78.3	79.6
収 益	非規格卵価 円	1161 ^b	1349 ^c	932 ^a	1152 ^b	1256 ^{b c}
	規格卵価 円	1445 ^b	1645 ^c	1171 ^a	1424 ^b	1546 ^{b c}

育成期は0~20週齢、成鶏期は20~80週齢、卵質は34~78週齢の8回の平均
異符号間に有意差あり、小文字(P<0.05)、大文字(P<0.01)

[資料名] 平成12年度試験研究成績書(繁殖工学・養鶏)

[研究課題名] 採卵鶏の経済検定試験

[研究期間] 平成11~12年度

[研究者担当名] 岸井誠男・引地宏二